

化学基礎

共通テスト初年度について

傾向

- 大問数は2で、2018年度試行調査から1題減少し、従来のセンター試験と同じでした。試行調査と比べると、小問集合の割合が増え、リード文も短くなるなど読解の負担が減少した一方、きちんと読み込まなければ正解を導けない問題もあり、全体の負担感は同程度でした。
- リード文を読解した上で考察する問題は出題されましたが、試行調査のような長いリード文やレポート形式の問題は出題されませんでした。また、数値を桁ごとに解答する問題が出題されました。

出題内容

大問	出題内容	難易度		
		やや易	標準	やや難
1	小問集合／物質の構成、物質の変化		●	
2	実験問題／物質の変化			●

パワーマックスについて

編集方針

- 2021年度本試験に合わせた形式の模試を3本、2018年度試行調査に合わせた形式の模試を2本掲載
- 最新の本試験に沿った形式だけでなく、試行調査で出題された形式も盛り込んだZ会オリジナル問題

書籍の特長

- 対策の行いにくい**実験問題を、すべての回に収録**しています。
- さまざまな出題形式に対応できるよう、2017年度試行調査で出題された**前問連動型の問題や、計算問題の数値を桁ごとに答える問題を、一部の回に収録**しています(1つの解答番号に複数のマークを行う問題は出題していません)。

第1回	大問	出題内容	解答目安時間	難易度		
				やや易	標準	やや難
	1	小問集合／原子の構造、混合物の分離、物質の量、酸化還元反応、金属のイオン化傾向、身のまわりの化学	15分		●	
	2	実験問題／中和滴定	15分			●

第2回	大問	出題内容	解答目安時間	難易度		
				やや易	標準	やや難
	1	小問集合／原子の構造、周期表、分子の形・極性、結晶、化学反応の量的関係、酸化還元反応	15分		●	
	2	実験問題／気体の分子量、中和滴定	15分			●

第3回	大問	出題内容	解答目安時間	難易度		
				やや易	標準	やや難
	1	小問集合／原子の構造、単体と化合物、物質の三態、化学反応の量的関係、酸と塩基、身のまわりの化学	15分		●	
	2	実験問題／酸化還元反応	15分			●

第4回	大問	出題内容	解答目安時間	難易度		
				やや易	標準	やや難
				1	水に関する総合問題、身のまわりの化学	9分
	2	読解問題／金属のイオン化傾向、酸化還元反応	10分		●	
	3	実験問題／化学反応の量的関係	11分			●

第5回	大問	出題内容	解答目安時間	難易度		
				やや易	標準	やや難
				1	身のまわりの化学	9分
	2	読解問題／塩の加水分解	11分			●
	3	実験問題／金属のイオン化傾向	10分		●	